

勉強の仕方補講

2026年4月27日

【1】大逆転の勉強法

勉強の仕方を確認しよう。

<勉強の流れ>

りかい
理解

えんしゆう
演習

はんぶく
反復

(1) 理解



①先生に

集団授業	映像授業	個別授業	質問
みんなで、効率的に競い合って単元を理解する。	自分の状況に合わせてながら、効率的に理解する。	分からない点をピンポイントで解説を受ける。	先生の都合の良い時間に合わせて質問する。



部活では^{はんぶくれんしゅう}反復練習するのだから、学習でも反復練習するのは大切だよ。

②自分で

教科書(参考書)を使って	問題集のまとめを使って	問題の解答解説を使って
学習の基本は教科書。読んでも分からないところは質問しよう。	問題集には各単元をコンパクトにまとめたポイントが載っている。	問題を解いたら、すぐに解答解説を読む。分からなかったら質問しよう。

(2) 演習と反復

理解をした後に、何度も何度も演習を繰り返すことで、学んだことが定着します。理解していても点数が取れない生徒の多くは、この反復演習が足りないのです。では反復演習が足りない原因は何か？

★○○が忙しくて、勉強時間がない。→勉強の優先順位が低い。

・○○には課外活動や習い事などが入ります。

逆に「勉強が忙しくて、○○をする時間がない」と訴えてくる生徒はほとんどいません。

・**優先順位が高いものは、上達します。課外活動や習い事を「勉強時間がない」とせず、「忙しくても必ず1日1時間勉強する」とか「少なくとも漢字と計算の練習をする」という決まり事を作り、実行しよう。**

★問題集がないorコロコロと変える

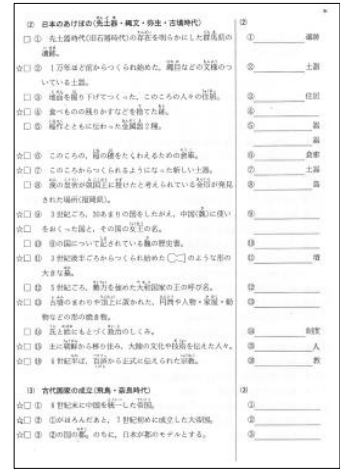
- ・特に受験生は、書店の「学習参考書」のコーナーで自分にあった問題集や参考書を購入して下さい。
- ・進○ゼミでは合わないから、Z○の通信添削にしようとか、問題集の最初のページをやっただけになっているなどということは、ご法度。「理解したうえで何度も繰り返して解く」と成績が上がります。まずは、市進の教材を何度も繰り返して解こう。

<一問一答集有効的活用法>

「一問一答集」って知っていますか？一つの質問（問題）に対して一つの答えをすることを繰り返して、暗記する問題集の一種です。右は社会の一問一答集です。

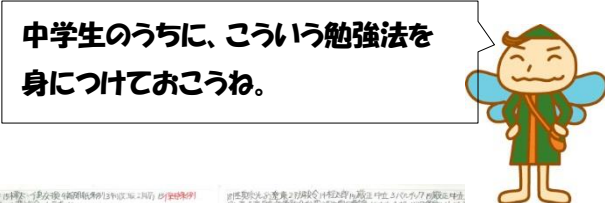
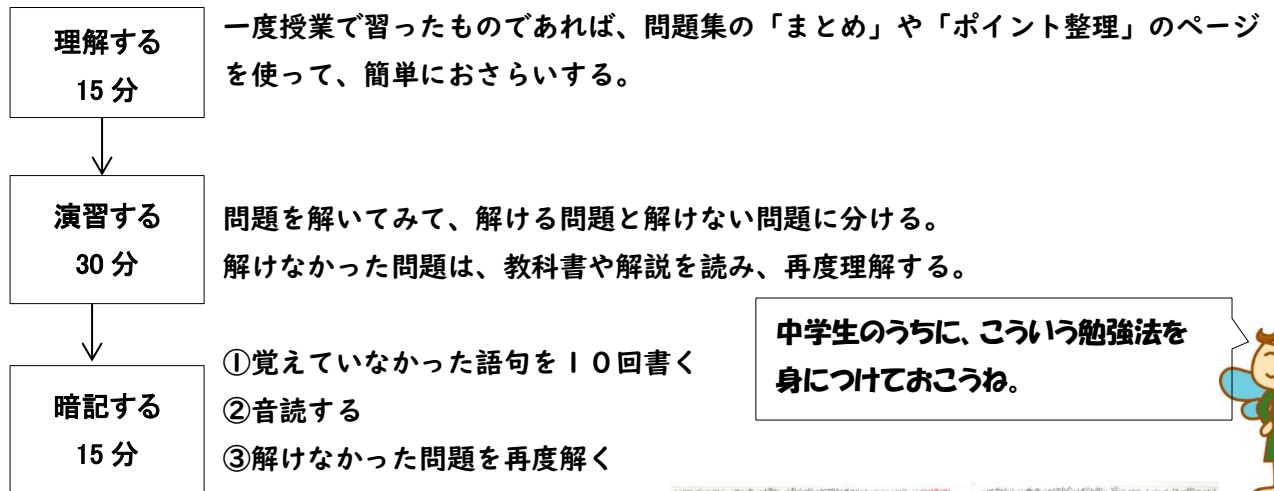
英語、理科、社会で有効な学習手段ですが、使い方を間違えると、時間をかけているわりには点数に結びつかなくなってしまいます。また、多くの学生は間違っ使っています。

ここで一問一答集の正しい使い方を載せておくので、みなさん、マネをしてください。



歴史の勉強を例に挙げると、授業や教科書で歴史の大きな流れをつかんでから、一問一答集を使うということです。その際に、細かい部分にこだわらずに、6割できれば次の単元に進めましょう。そして、何度も繰り返して8割以上答えられるようになったら、問題集を解き、解けなかった問題があったら、一問一答集に戻って再度暗記するということを繰り返すと効果があります。

1 教科60分勉強するとして、



(3) 数学

II-18
11月28日

中3数学 II-18

40 25 ← 全校生徒400人のうち、欠席者の合計は、
 $18 + 35 + 20 + 13 + 9 + 10 = 105$ (人)
 $105 \div 400 = 0.2625 \rightarrow 26.25\%$

9 11
 $9 \div 275 = 0.0327 \dots$
 $9 \div 125 = 0.072$

68 \div 575
 $\frac{68}{575} = 0.1184 \dots$

接種者 11.6%
 非接種者 54.4%

0.1% 概数、何?

221 \div 6
 $\frac{221}{6} = 36.833 \dots$

接種者の平均欠席日数は、
 $(1 \times 14 + 2 \times 4 + 3 \times 11 + 4 \times 2 + 5 \times 0 + 6 \times 1) \div 32 = 2.15625 \rightarrow 2.2$ (日)

非接種者の欠席日数は、
 $\frac{36.8}{3.1} = 11.87 \dots$

接種者の平均欠席日数は、
 $(14 + 4 + 11 + 2 + 1) \div 6 = 5.166 \dots \rightarrow 5.2$ (日)

非接種者の平均欠席日数は、
 $[1 \times (18 - 14) + 2 \times (35 - 4) + 3 \times (20 - 1) + 4 \times 10 - 26 + 5 \times (9 - 0) + 6 \times (10 - 1)] \div 68 = 3.1029 \dots \rightarrow 3.1$ (日)

接種者の欠席人数は、
 $14 + 4 + 11 + 2 + 1 = 32$ (人) であり、その接種者全体に対する割合は、
 $32 \div 275 = 0.1163 \dots \rightarrow 11.6\%$

非接種者の欠席人数は、 $100 - 32 = 68$ (人) であり、その非接種者全体に対する割合は、
 $68 \div 125 = 0.544 \rightarrow 54.4\%$

II-18

(4) まとめノート

10月25日

大政奉還

年代: 1869年10月 行った人物: 徳川慶喜

朝廷を中心とする、幕府にかつる新政権の中で主導権をにぎるため、政権を朝廷に返した。こと。

朝廷を中心とする、幕府にかつる新政権の中で主導権をにぎるため、

その後の動きは - ?

これに対し、西郷や公家の岩倉具視などは、朝廷を動かして、同年12月に王政復古の大号令を発し、天皇を中心とする政治にもどすことを宣言すると同時に、慶喜の政治的な影響力を弱くするため、官職や領地の返上を命じた。

これに不満を持つ旧幕府軍は、1868年1月鳥羽・伏見(京都府)で新政府側との戦争を起したが、敗れた。新政府は4月に江戸城を明けわたらせ、その後軍を進めて翌年には函館で最後の旧幕府軍を降伏させ、国内を平定した。(戊辰戦争)

徳川慶喜が、京都の二条城で、家臣に政権返上の決意を伝えている場面。

10月25日

版籍奉還

年代: 1869年(明治2) 新政府によるもの。

政治の権限を集中させるために、太政官と呼ばれる制度がつけられたが、大名を領主とする藩はそのまま残っていたので、新政府が、土地と人民を政府に返させた。

明治維新の大きな目的は、政府が全国を直接治める中央集権国家をつくり上げることだった。

その後どうなった...?

しかし、藩の政治は、もとの藩主がそのまま担当したので改革の効果はあがり、また限られた直接の支配地からは厳しく意をとり立てたため、人々の不満は増し、一揆が頻りに起った。

何で版籍奉還で土地と人民を政府に返させたの?

新政府が、藩への統制力を強めるため、

なぜ版籍奉還を行ったの?

明治政府は、政府が決定した政策が速やかに全国に実施できる中央集権のしくみをつくるため

【3】中学生定期試験対策

1. 通常授業内定期試験対策 塾での勉強は、「演習量を増やす」ことを目的とします。

原則、必修テキストを使用し、学校のワークは塾の授業外でやり終えるように計画を立てましょう。
定期試験の範囲表が出たら、すぐに担当の先生に範囲表を提出して下さい。

(使用する教材) 必修テキスト



集団生が教科書対応教材「必修テキスト」を購入すると解説授業を受講できます。

サンプル動画

2. 授業外定期試験対策

5/10(日)	13:00~18:00	5/17(日)	13:00~18:00
---------	-------------	---------	-------------

*授業外定期試験対策までに、学校のワークを終わらせておくと、効果的です。

【4】定期試験学習手帳

【目標】

科目	国語	数学	英語	理科	社会	合計	順位
今回の結果	点	点	点	点	点	点	/
目標	点	点	点	点	点	点	/
前回結果	点	点	点	点	点	点	/

【決意表明とその取り組み】

決意表明	具体的取り組み
決意1	
決意2	
決意3	

具体的取り組みは、勉強をしているときに必ず守れるものにしましょう。



【範囲】

国語	
数学	
社会	
理科	
英語	

【スケジュール】

日付	予定（試験など）	塾	学習予定	学習結果					
				合計	国語	数学	英語	理科	社会
4/28（火）									
4/29（水）									
4/30（木）									
5/1（金）									
5/2（土）									
5/3（日）									
5/4（月）									
5/5（火）									
5/6（水）									
5/7（木）									
5/8（金）									

日付	予定（試験など）	塾	学習予定	学習結果					
				合計	国語	数学	英語	理科	社会
5/9（土）									
5/10（日）									
5/11（月）									
5/12（火）									
5/13（水）									
5/14（木）									
5/15（金）									
5/16（土）									
5/17（日）									
5/18（月）									
5/19（火）									
5/20（水）									
5/21（木）									
5/22（金）									
5/23（土）									
5/24（日）									
5/25（月）									
5/26（火）									
5/27（水）									
5/28（木）									